

アートを学ぶ、アートを感じる。
きっと自分の可能性も、地域の未来も見えてくる。

福島大学 “芸術による地域創造研究所”

「福島大学 芸術による地域創造研究所」では、福島大学 人間発達文化学類 教員を中心とした研究員と、外部連携研究者(美術館・博物館 学芸員など)、さらに福島大学の学生、院生が一体となって、福島を拠点に、芸術による文化活動を通じた街づくり・地域の活性化に関する実践的研究をおこなっています。在学生、院生が実行委員となり、現代美術作品の展示、パフォーマンスや講演会、シンポジウムなど多くのイベントを開催してきました。学内にとどまらず、外部人材や地域の人々との交流など、卒業後の将来に役立つ実践の場となっています。



福島大学生が生んだ
キャンパス・キャラクター「ぶくぶ」福島大学非公認
平成28年度 福島大学キャンパスライフ活性化事業
(福島大学のキャラクターをつくらう)

芸術文化による『街づくりの必要性』に関する研究

街づくりにおける芸術や文化の意義に関する理論研究を行います。

芸術文化を通じた『街づくり・地域の活性化』の事例研究

国内外の芸術文化活動による事例を検証・研究することで、地方創生における芸術の役割と可能性を考えます。

県内モデル地域における『文化政策』研究

地域に埋もれてしまいがちな文化資源を洗い出し、地域の新たなコンテンツとしての新たな可能性を探ります。

アートプロジェクト・芸術企画と運営による実践研究

モデル地域における文化政策と芸術イベントの開催・運営を通じて、実践の中から、地方創生における芸術の役割と可能性を考えます。

芸術文化による『国際交流』

芸術文化活動を通じ、国際的に活躍できる人材育成のための積極的な国際交流をしています。

東日本大震災後の『復興支援』

東日本大震災の被災地「福島」の大学生としての復興支援を、芸術文化活動やボランティア活動を通じて実践していきます。



地域の人々へのヒアリング

復興アートへのほりプロジェクトに参加

1 地域産業と連携し研究開発や、新たな商品デザイン



- 主な作品
 - ・福島市内の菓子店(ニュー木村屋)との商品開発「ももりんサブレ」
 - ・福島県職工会館寄付金事業(会津美里町商工会)「会津本郷 新作共同作品<空>」
 - ・「福島県 環境と共生する農業」広瀬アスター制作(福島県農林水産部環境保全農業課)
 - ・ドキュメンタリー映画「奪よこい」ポスターデザイン制作(株式会社ミルインターナショナル)
 - ・福島県職工会館寄付金事業「線路沿道温泉観光協会」「昏れ灯籠」
 - ・水原観形産産事業「観光案内看板デザイン」(沼上蘆布・発電所、田中山砲スウィッチバック、竹之内発電所)

2 福島県や市の企画、産学官民の連携活動の実践



- 主な活動
 - ・「第20回全国生涯学習フェスティバル2008」(福島県)
 - ・「福島こどもの未来展」(福島県)
 - ・「会津 漆の芸術祭」(福島県立博物館)2010年～2012年
 - ・「はまなかにあいつ文化遺産プロジェクト」(福島県立博物館)2012年～2017年
 - ・「喜多方・夢・アートプロジェクト」(喜多方市美術館)2013年
 - ・「パセオ・ミュージアム」(福島市)2014年～2016年
 - ・「未来の国見町をサイトライティング〜美術を通して未来を創る」(国見町、東北×福島大×東京芸術大)2015年
 - ・「磐梯熱海のアート事業」2016年～2018年

3 福島大学で企画・運営をした、アート・プロジェクト



野原子の生家・公開制作 小松美羽 学生による作品の設置 二本松の菊人形祭り ヤノバケンジ+増田セバスチャン

- 主な企画・運営した芸術イベント
 - ・「福島ビエンナーレ」(福島市、福島空港ほか)2004年～2018年
 - ・「風と土の芸術祭」(会津美里町)2007年～2009年、2013年
 - ・「豊穡の芸術祭」(瀧川村)2014年
 - ・「海神の芸術祭」(南相馬市)2018年
 - ・「重陽の芸術祭」(二本松市)2016～2018年

活動事例

福島ビエンナーレ

福島大学の学生が実行委員となり、2004年に始動した。文化施設、空港、商店街などを会場に、美術の展示、パフォーマンスやシンポジウムなどを開催。福島を拠点に、地域の人々との交流を図り、自主的な活動と活気ある地域づくり、新たな地域文化の創造を目指している。

<http://wa-art.com/bien/>

風と土の芸術祭

2007年から伝統的な会津本郷焼の産地の「土」を用いて作品を制作し、本郷のメインストリートに作品を展示。地元の子どもたちが地域をフィールドにしたこのイベントに参加することで、自分たちが暮らすまちの歴史や文化を考える「場」を提供している。

<http://wa-art.com/misato/>

Koi鯉アートのぼり

子どもたちと一緒に一匹の大きな鯉のウロコに思いを描き、避難所や学校園に飾るワークショップや、世界各地から

寄せられた応援メッセージを福島に飾る「鯉アートのぼり」の活動。図画工作の教科書にも掲載。震災後の福島において展覧会、ワークショップ、伝統的な文化活動の支援を開催。

<http://wa-art.com/koi/>

参考URL
研究所ホームページ

<https://www.ad.ipc.fukushima-u.ac.jp/~p107/irc/thema.html>